側弯症の手術を受けられる患者さんへ

患者氏名 主治医: 受け持ち看護師:

				工术区:		又バけつ自設師・		
項目	<u>∕</u> 入院日	手術当日 (手術前)	手術当日(手術後)	/ 手術後 1日目		/ ~ / 手術後 4 ~ 6 日目	/ ~ / 手術後 7 ~14日目	/ 手術後15日目退院
達成目標	・手術や術後の状態について理解し不安なことや疑問点は質問することができる ・感染予防行動(手洗い・うがい、口腔ケア、シャワー等)がとれる ・手術の準備が整っている ・手術と向けて体と心の準備ができる ・手術後の状態について不明な点は医療者に質問し理解できる ・手術に必要な物品の準備ができる		・自覚的な症状(下肢の痛みやしびれ、麻痺症状、尿や便が出にくい、吐き気や頭痛、胸部症状など)を 医療者に伝えることができる ・痛みが増強した際に報告ができ、疼痛緩和の処置を受けることができる ・手術部位略染の危険性を理解し、感染予防行動(口腔、傷口の清潔の保持)がとれる ・深部静脈血栓症予防の必要性を理解し、予防行動をとることができる ・創部保護剤による皮膚トラブルを予防できる			・術後創部の感染徴候を認めない(発熱38.0°C以上がない) ・コルセットによる皮膚トラブルを予防できる ・コルセットを装着して歩行器で歩行できる		・創部の異変や発熱が持続するなど、 異常を感じた場合はすぐに医療機関 を受診することができる ・定期的な外来受診やリハビリテー ション継続の必要性が理解できる
			ベッド上安静を守る事ができる ・足関節の底背屈運動することで、足の血流を促し肺塞栓を 予防することができる		 ・ドレーンが抜けて離床できる ・リハビリテーションに参加できる ・転倒の危険性を理解し転倒を予防することができる 		・・退院後創部や体調に異常があるとき は連絡し受診しましょう	
治療・薬剤 (点滴・内 服) ・処置	- 現在内服しているお薬は医師の指示に従ってください - 手術後しばらくは内服薬は看護師が配ります - 21時頃に下剤を飲みます	・指示された薬のみ内服します ・1番目の方は点滴を行い8時頃 に手術室へ行きます。 ・2番目以降の方は、病様で点滴 を行い、連絡が来てから手術室 へ行きます	・点滴、酸素マスク、ドレーン、『 ・心電図モニターと肺塞栓予防のか ・軽い痛みでも痛み止めを使います ください	とめにフットポンプをつけます	・傷の消毒を行い、ドレーンを抜きます	・傷口が見えるフィルム 剤を貼付します	・手術後11日~14日の間に抜 糸を行います	・退院後も続く内服薬がある場合は継続して内服します。 ・定期的な外来受診やリハビリテーションを継続しましょう
・リハビリ			- 抗生剤の点滴があります ・内服薬を再開します ・新たに消炎鍼痛剤の内服を 始めます ・サハビリテーションが始まります ・リハビリテーション室は2階にあり、時間は朝に看護師が伝えます					
検査	・必要な検査がある場合はお知らせします	・特にありません	・手術後に採血があります	・朝食前に採血があります	・手術後3日目に採血を行います	・手術後5日目に採血を 行います	・手術後7日目と14日目に採血とレントゲン撮影を行います	
活動・安静度	・特に制限はありません ・転倒予防のため必ず踵のある履きなれた靴を履きましょ ・タバコを吸ってはいけません ・深呼吸の訓練をしましょう	ž	・手術後はICUIに入ります ・手術当日はベッド上安静です ・1人で体の向きを変えることは できません。ナースコールで お知らせください	ペッド上安静です。 すきを変えることは ・1人で体の向きを変えることはできません。体を控う ださい ださい たさいよう看護師と一緒に行いますので、ナースコール		着します まです。医師の許可がある。	・腰をひねったり、曲げたり まで外して移動できません	・約6か月間、医師の指示通りコルセットをつけて生活します。 ・正しい位置で、しっかりとしめないと効果が得られませんので、注意して下さい。医性の許可があるまでコルセットがを持ったり、腰をひねる、過度に腰を曲げるなどの動作を避けて下さい。
食事	・昼食よりお部屋に配膳します ・絶飲絶食の時間は麻酔科医師の診察後に お知らせします	・麻酔科医の指定された時間まで 水分(水・お茶のみ可)を摂る ことができます。絶飲絶食の時間をお守りください	・絶食です。飲水は主治医の許可 を得て開始します ・手術前と同様の食事が始まります					
清潔	・シャワーに入ってください。介助が必要な方は 介助します ・体に傷がある際はお知らせください ・ 爪切りを行います ・ 化粧やマニキュア等はとってください	・シャワーや体拭きはできません	・体を拭きます ・医師の許可が出るまでシャワーには入れません ・洗髪は患者さんと話し合いながら計画を立てていきます ・ 手術後の傷を医師が確認しシャワーの許可が出ます ・ シャワーの許可が出たら、シャワーの介助をします ・ 手術後は腰をかがめることができませんので、柄つき ブラシがあると便利です					・滑り止めや浴用椅子を使用し安全に 入浴しましょう
排泄	・特に制限はありません	・特に制限はありません	・尿の管は入れたままです・排便はオムツや便器を使用しての排泄になります		・尿の管を抜きます。 排尿と排便はトイレで行う事ができます			
患者様及び ご家族への 説明 導 米薬指導 服薬指導	・主治医から手術、麻酔科医より麻酔の説明があります 同意書を記入し、看護師に提出してください 手術説明同意書、麻酔同意書、輸血同意書 特定製剤由来同意書 リハビリテーション同意書 ・クリニカルパスに沿って手術前オリエンテーションを 行います ・病室が変わることがありますので部屋移動について看 護師が説明します ・手術後はICUに入室します。希望される方はICUの見学 ができます 【ご家族の方へ】 入室の際は、ご家族も手指消毒を行いマスクを付けて ください	・ 化粧をしてはいけません ・ 指輪、 義歯、コンタクトレンズ、時計、ビアス等の食い 風類や 不を外してください肺 実施である。 手術なに着替えて肺寒栓症予防 のための弾性ストッキングを履きまず・トイレを済ます手術室入室前に 乗り3階・手術室入室前 まず 新室へお越しください	手術終了後は、可能な限り足首の底背屈運動をしてください 味ずれや合併症予防のために、ヒップアップをしましょう 息がしずらい、喉の圧迫感がある、痛みや手足の痺れが強くなった時はすぐに看護師へお知らせください 主治医より、手術の経過について説明があります。ご家族の方は、手術終了後連絡がありましたら、ICUにお越しください		・コルセットを正しく装着し、腰部の安静に努めましょうコルセットで接触面が赤くなったり、痛みがある時は医療者に申し出てください・水分をしっかりとること、足首の足背運動を心掛け、深部静脈血栓症予防に努めましょう・履き慣れた靴を正しく着用し転倒・転落予防に努めましょう・・ 医療保険等の診断書が必要な場合は、1階診断書窓口で手続きを行なってください。尚、書類作成には約2週間かかります・・ 後日コルセット代金の請求書が届きます。保険対象外となるため一旦自費となりますが、手続き後に返金されます			・病棟クラーク(事務職員)が会計計算票、看護師が預かっている内服薬を病室までお持ちします。病室でお待ちください ・退院後初回再診日まで、不明な点、不安な事がありましたらパンフレットに記載されている連絡先に電話してください
手術の 準備物品	 手術前日までに以下の物品を準備してください。また、自宅で手足の爪切りをしてきてください							